

\* 2007年9月改訂(第3版)  
2001年4月改訂

貯法: 遮光・気密容器  
薬効分類名: 外皮用殺菌消毒剤  
販売名: エタノール「イマヅ」

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	16000AMZ03819000
薬価収載	1985年8月
販売開始	1952年12月
再評価結果	1982年8月

ライダー印

日本薬局方 エタノール

ETHANOL

**【禁忌】**

(次の部位には使用しないこと)  
損傷皮膚及び粘膜(刺激性を有するので)

**\*【組成・性状】**

本品は15℃でエタノール(C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O)95.1~96.9vol%を含む(比重による)。  
本品は無色澄明の液で水と混和する。  
本品は燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃え、かつ揮発性である。

**【効能・効果】**

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒

**【用法・用量】**

本品 830mL を精製水で薄めて 1,000mL とし、これを消毒部位に塗布する。

**【使用上の注意】**

- (1) 副作用(頻度不明)  
過敏症(発疹等)、皮膚の刺激症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。
- (2) 適用上の注意  
人体  
ア. 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。  
イ. 眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。  
ウ. 広範囲又は長時間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。  
エ. 同一部位に反復使用した場合には、脱脂などによる皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

その他

本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

(3) その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT) 使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

**【薬効薬理】**

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルスなどには有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌など)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

**【取扱い上の注意】**

- (1) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐蝕を防止するために 0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。  
(2) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

[包装単位] 500mL, 16L, 18L

[製造販売元] 東京都千代田区神田須田町  
2丁目19番地  
今津薬品工業株式会社